

二月四日の「立春」を過ぎ、暦の上では春を迎えました。二月前半は晴天の日も多く、春が近づいた感がありました。関東では初夏の暖かさになったなどというところもあったようです。しかし、ここへ来て西高東低の気圧配置に戻り、冬に逆戻りしたような感じでした。山形の春の訪れはもう少し先になりそうです。

「冬来たりなば 春遠からじ」と言います。

私達の工事もおと一息。明るく春を迎えられるよう、もうひと踏ん張りです。



冬に逆戻り（2月16日）

## 山形市学校給食センター整備運営事業

# 下河原かわら版

第九号

発行：2009年（平成21年）2月  
 山形建設・鹿島道路共同企業体  
 （山形市学校給食センター新築工事現場）  
 山形市清住町一丁目2番18号  
 ☎(023)644-5208

## 工事の進捗について

建築工事は、外構工事の一部を除いていただいた終わりましたが、電気設備、機械設備、空調設備、そして厨房設備機器の工事が大急ぎで行われています。

一月末から二月にかけて、厨房設備機器が搬入、設置されました。調理室、揚げ物・焼き物室、洗浄室、下処理室など、すべての厨房機器、調理機器が入り接続されました。幸いこの時期は積雪が少なく、天候に恵まれました。

厨房機器が設置されると、給食センターらしくなってきました。調理室にあるのは、一回で約八百人分の料理を作ることができる大きなナベ。二基ある特に大型のナベは、約二倍の容量があります。揚げ物・焼き物室には、流れ作業で大量の調理が行える大型のフライヤーと、一台で「蒸す」「焼く」の調理が可能な多段式の機械が何台も設置されました。

消毒室には、大型のコンテナが並べられました。洗浄室は、返却用トラックで戻ってきた食器類を、手早く大型の洗浄器に入れられるように工夫されています。



大型のナベ（調理室）



フライヤー（揚げ物・焼き物室）



コンテナ（消毒室）

建物の外廻りの工事は、正面玄関前階段のタイル貼り、駐輪場の整備、スロープの仕上げなどが行われました。また、入荷・出荷ヤードの仕上げも行われました。



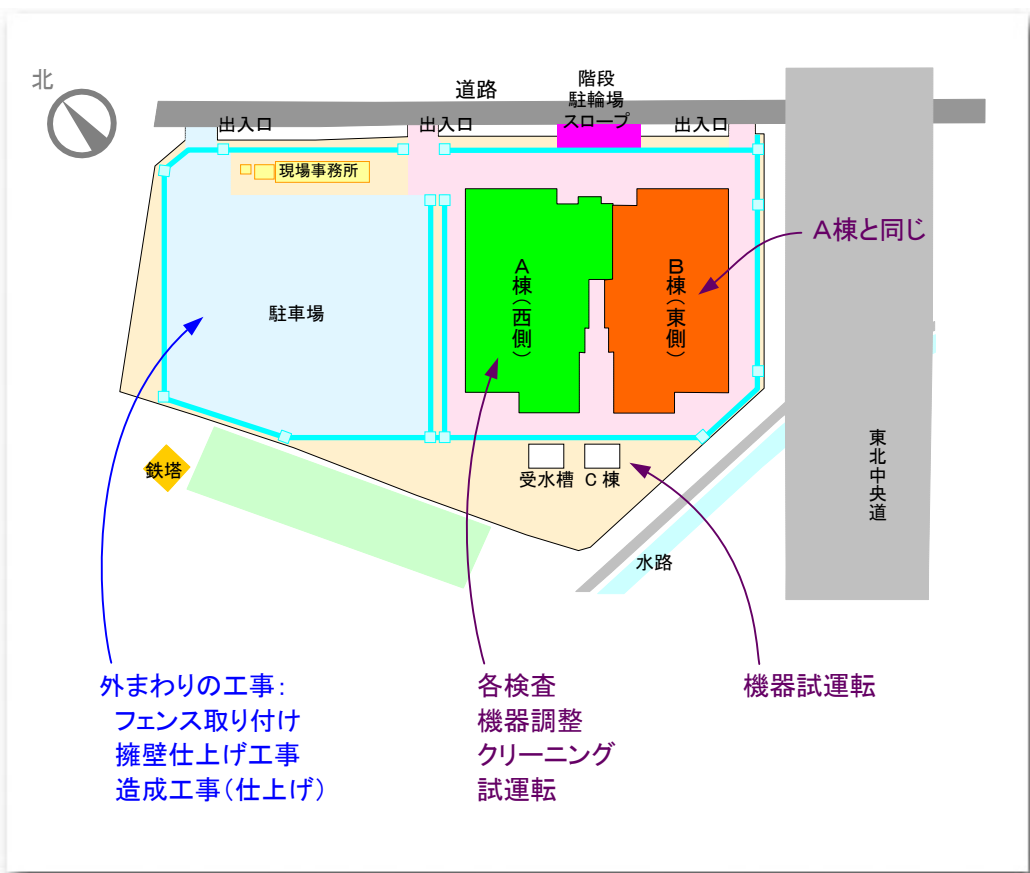
大型洗浄器（洗浄室）



駐輪場・階段スロープ



外構が終ったトラックヤード前



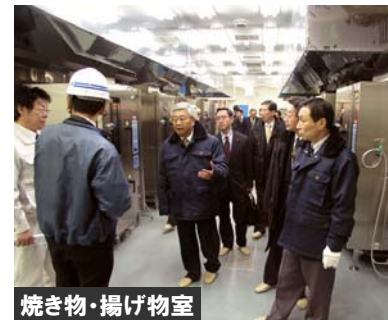
## 山形市長、副市長 現場視察

二月六日（金）、山形市の市川昭男市長、荒井満副市長らの現場視察がありました。

市長ら一行は昼過ぎに現場に到着。現場事務所にて工事概要・進捗を聞き、完成間近の建物内を見て廻りました。国内最大規模の給食センターの完成を心待ちにしているとのこと。



現場事務所での進捗の説明



焼き物・揚げ物室



2階 見学者通路



洗浄室・消毒室

## 山形県・市町村 学校給食 共同調理場連絡協議会 見学会

一月下旬、山形県・市町村 学校給食共同調理場連絡協議会の現場見学会がありました。県内各地の給食センター所長や職員さんの見学です。調理室にすえつけられたナベや調理機械を見ながら、具体的な使い方や、調理の際の注意点などを工事の担当者に細かく質問されていました。



正面玄関



2階 見学者通路



調理室

## 山形市学校給食委員会 見学会

山形市学校給食委員会の見学会が、二月上旬にありました。山形市内の小・中学校の生徒達に安全な給食を提供できる、新しい給食センターの設備をじっくり見学し、子供達も安心して給食が楽しめるかと感心されていました。



2階 展示ホール



揚げ物・焼き物室



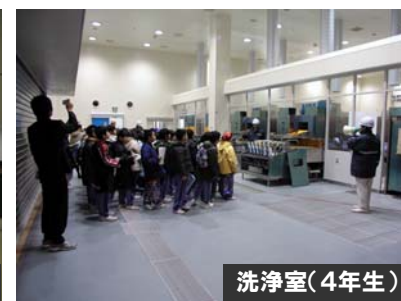
調理室

## 宮浦小学校 4年生 6年生 の皆さん 見学会

一月下旬、山形市立宮浦小学校の4年生約六十名、6年生約八十名の皆さんが、別々の日に現場の見学に来てくれました。皆さんは飯塚の宮浦小学校から、歩いて現場に来てくれました。

4年生の皆さんは、献立がどう変わるのかが気になるようでした。

6年生の皆さんが来てくれたときは、ちょうど調理室にナベが設置されたあとでしたので、給食センターらしい室内を見学していただきました。



洗浄室(4年生)



消毒室(4年生)



2階 会議室(6年生)



調理室(6年生)

## 現・給食センター 職員見学会

1月から2月にかけて、現給食センター職員の方々も見学にされました。



ナベの説明



調理室

## 調理室の蒸気テストが行われました

調理室の蒸気のテストが、二月半ばに行われました。お湯を沸したナベのフタを一気に開け、どのくらい蒸気が出るかのテストです。大小十六個のナベのフタが一斉に開けられ、湯気が立ち昇りました。テストは合格のようでした。



フタが一斉に開けられました



湯気で白っぽくなっています



お湯が沸騰しました

## 次号(第十号)のお知らせ

この工事は、センターが供用開始される直前の三月まで、機器の調整や試運転、植栽工事などが行われます。しかし、工事期間中の『下河原かわら版』はこの第九号が最後となります。最終号となる『下河原かわら版 第十号』は、建物完成後の四月半ば以降にお届けいたします。